

10 これからの宇美町

(1) 宇美町のシンボル



宇美町の町章

● 宇美町の町章 ちょうしょう

宇美町の町章は、カタカナのウとミを組み合わせて鳥の翼を描いたものです。背面の色は、自然を表す緑です。

豊かな自然と歴史や伝統を大切にしながら、文化都市として飛躍・発展していく宇美町を表しています。

● 宇美町の花と木 ちょうせい し こう しゅうねん き ねん せいでい (町制施行65周年を記念して制定)

■ 宇美町の花 (ツクシシャクナゲ)

ツツジ科の常緑低木で、直立するものは高さ3m、直径15cmほどになります。

三郡山系に多く自生し、耐寒性が強く筑紫路に咲く花としてひととき美しくかれんで、薄桃色の花は人々の心をなごませてくれます。



■ 宇美町の木 (くすの木)

クスノキ科の常緑高木で、材は堅く香気があります。宇美町の象徴ともいえる宇美八幡宮の神木でもあり、樹齢2,000年を経た湯蓋の森、衣掛の森で知られる大樟は、国・県の天然記念物に指定されています。

平成22年度 宇美町 住民意識調査 報告書

平成23年2月



(2) ねがいの暮らしと政治の働き

① 町民の願いと町議会

宇美町は、活気あふれる豊かな町、一人一人が住んで良かったと思えるまちづくりをめざしています。また、町民の暮らしの願いをかなえるために、住民意識調査を行って、まちづくりの総合計画を立てています。

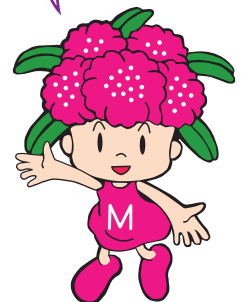
それを実現していくには、町民のみなでまちづくりの問題を話し合っていくことが大切です。しかし、すべての課題に対して町民全員が話し合っているのはとても難しいことです。

そこで、自分たちの意見や願いを代表する議員を選挙で選びます。

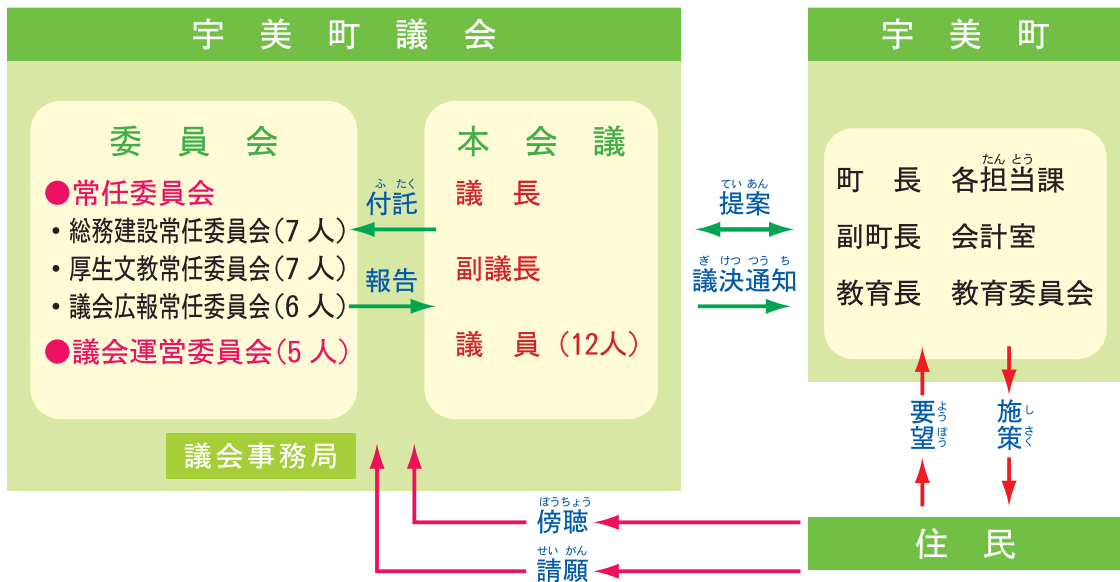
住民意識調査

住民の願いを詳しく正確にとらえるために、町が行うアンケート調査

町議会の仕組みや働きが、自分たちの生活にどのように関わっているのか調べてみましょう。



町議会の仕組みと働き



宇美町議会は、14人の議員で成り立っています。

議会には、全議員が一度に話し合う「本会議」と、一部の議員が決まった分野ごとに話し合う「委員会」があります。本会議は、町長の呼びかけに全議員の半数以上が参加して開かれます。3月・6月・9月・12月の定例会と必要に応じて臨時会が開かれます。条例を定めたり、町全体のお金の使い道となる予算を決めたりします。

委員会は、議会から付託（議会での決定に先立って、内容を詳しく調べることや議論することを任せられること）された案件の審査・調査を行う常任委員会と、特定の案件について審査する特別委員会、議会そのものをどのように運営するかを話し合う議会運営委員会があります。

議会事務局は、議会の資料作りや会場準備など、議会をスムーズに進行するための事務を行っています。

宇美町議会は、これらの活動を広く町民に知らせていくために、「うみ議会だより」を発行しています。

また、町議会は公開されており、議会モニターが役場内に設置されているので、議会のようすを自由に見たり聴いたりできるようになっています。

議会だよりには、議会の活動内容や本議会の内容（議員の町の政治に対する提案・質問と役場の答弁）が詳しく書かれています。



町議会のようす

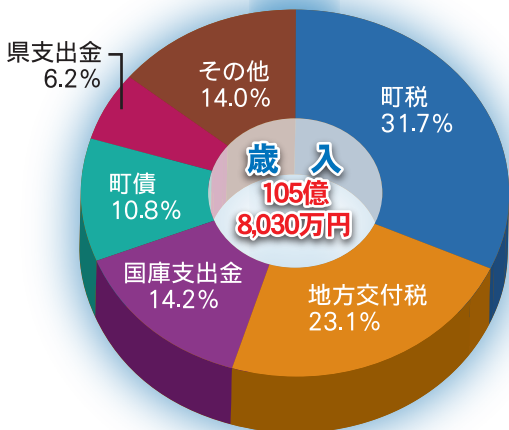


宇美町の予算

平成26年度当初予算

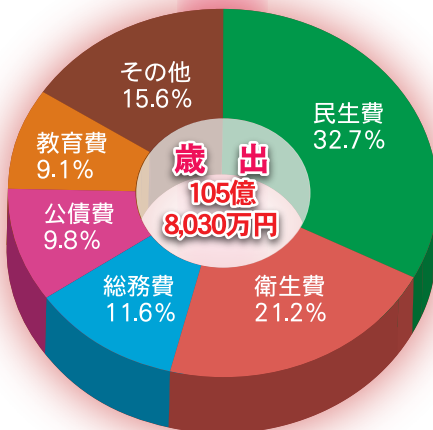
歳入

(宇美町に入ってくるお金)



歳出

(宇美町のお金の使いみち)



町税 約34億円
町民のみなさんから納められる税金です。

地方交付税 約24億円
国から町へ交付されているお金です。

民生費 約35億円
福祉関係のお金です。保育園、介護保険、障害者福祉などに使われています。

衛生費 約22億円
保健・環境関係のお金です。予防接種、健康診断、ごみ処理などに使われています。

国庫支出金 約15億円
国が使い道を指定して町へ支出するお金です。

町債 約11億円
町が国や銀行などから長期に借りているお金です。

総務費 約12億円
役場の運営関係のお金です。建物管理、コンピュータ管理などに使われています。

公債費 約10億円
宇美町の借金を返すために用意されるお金です。

県支出金 約7億円
福岡県が使い道を指定して町へ支出するお金です。

その他 約15億円
貯金からおろしたお金や施設の使用料、証明書の発行手数料などで使われています。

教育費 約10億円
小・中学校の運営や図書館・社会体育施設などに使われています。

その他 約17億円
土木費、消防費、農林水産業費、議会費などがあります。

歳入は家のお給料、歳出は家で使うお金と考えるといいね。



また、議会では上図のような予算を決めています。

町民・国民からの大切な税金をどのように使うと町民の暮らしがよくなるのかを議会で話し合います。



宇美町役場



窓口で対応している
町役場の職員



測量する町役場の
職員

②町役場の仕組みと働き

町議会で決められたことは、早速実行に移されます。その具体的な内容を計画し、実際に仕事を進めるところが、町長を中心とする町役場です。

宇美町役場には、わたしたち町民の豊かな生活を実現するための課（室・局）があって、仕事を分担して協力しながら働いています。

職員の数は約200人で、窓口で相談に応じたり、書類作成の事務をしたり、実際に町をまわったりしながら、住みよいまちになるよう仕事をしています。

宇美町役場のようすを見学しよう。どんな仕事をしているのかインタビューするのもいいね。



①事前連絡

②インタビューの前に

- ・何のために、
- ・誰に、
- ・どんなことを、たずねるのかメモしておきましょう。

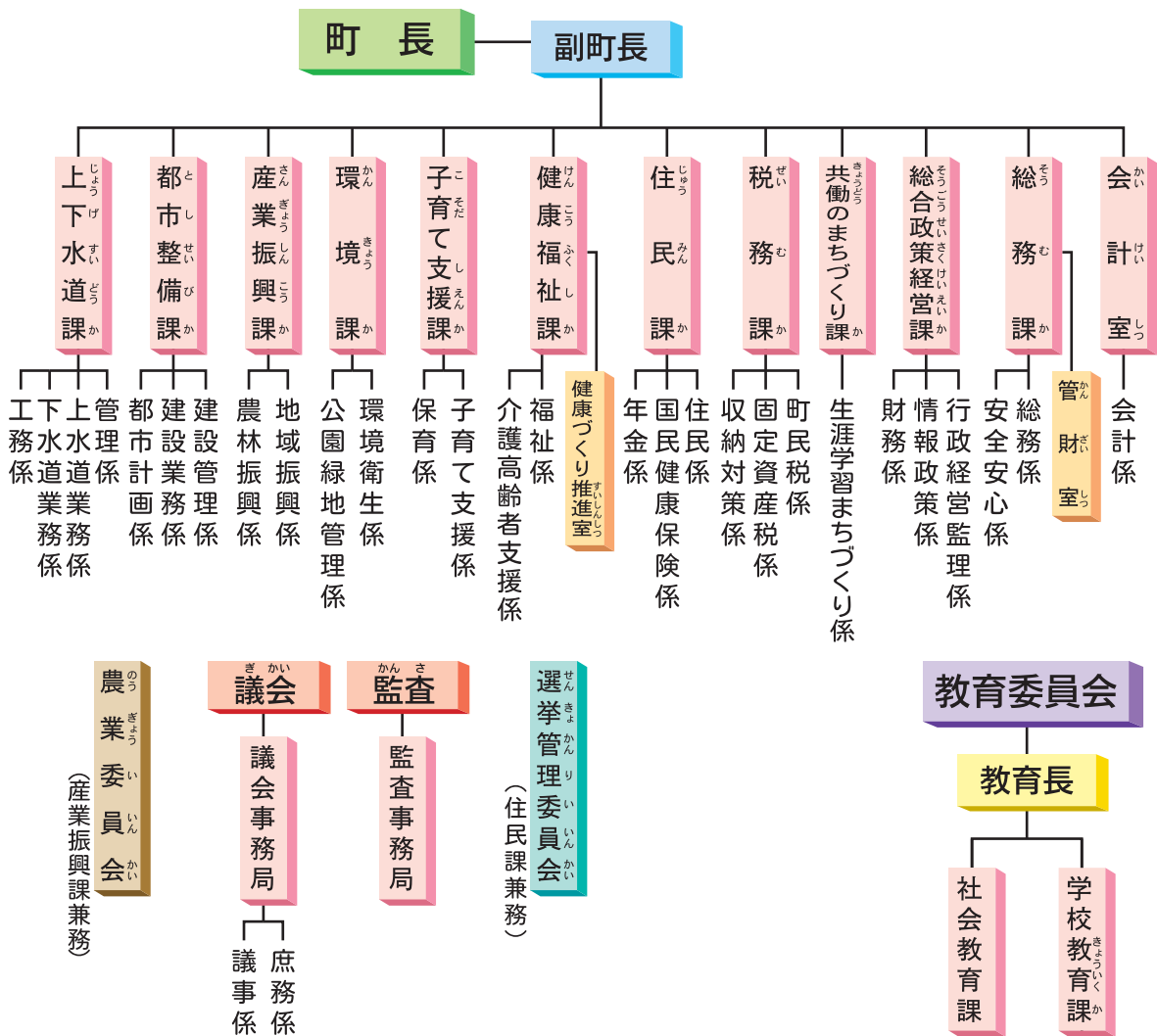
③インタビューするときは

- ・自己紹介
- ・インタビューの目的
- ・たずねたいこと
- ・資料等を借りられるか
- ・お礼

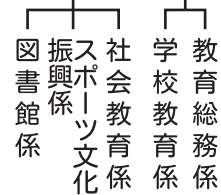
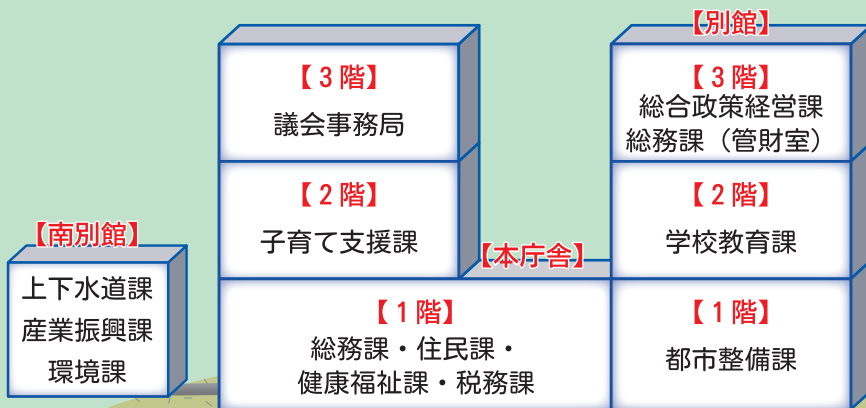
◇ 写真をとったり、録音したりするときは、相手に許可をもらってからにしましょう。

いろいろな課(室・局)や係

— 平成27年3月31日現在 —



宇美町役場配置図



【出先機関】

- 地域交流センターうみ・みらい館
〔1階〕 町立図書館
(社会教育課図書館係)
〔2階〕 生涯学習センター
(共働のまちづくり課)
- 住民福祉センター
社会教育課
- 健康福祉センター うみハビネス
健康福祉課 (健康づくり推進室)

広報「うみ」



こうした町役場の取り組みは、月一回各家庭に配られる“広報うみ”^{こうほう}で詳しく紹介^{くわしやうかい}されています。事業報^{じやうほう}告^{こく}だけでなく、特集コーナーや情報コーナーなど、“広報うみ”には町民^{ちやうみん}に役立つ情報がたくさん載っています。すべての年代の人たちが読んで楽しく分かりやすい誌面作りを工夫^{くふう}しています。

また、町役場^との取り組みや情報は宇美町ホームページでも紹介^{しやうかい}されており、インターネットを通じて町外^{つう}の人々も宇美町のことを知ることができます。

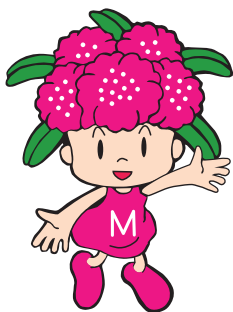


「広報うみ」には身近で詳しい情報がたくさんつまっているよ。
みんなも手に取って読んでみましょう。



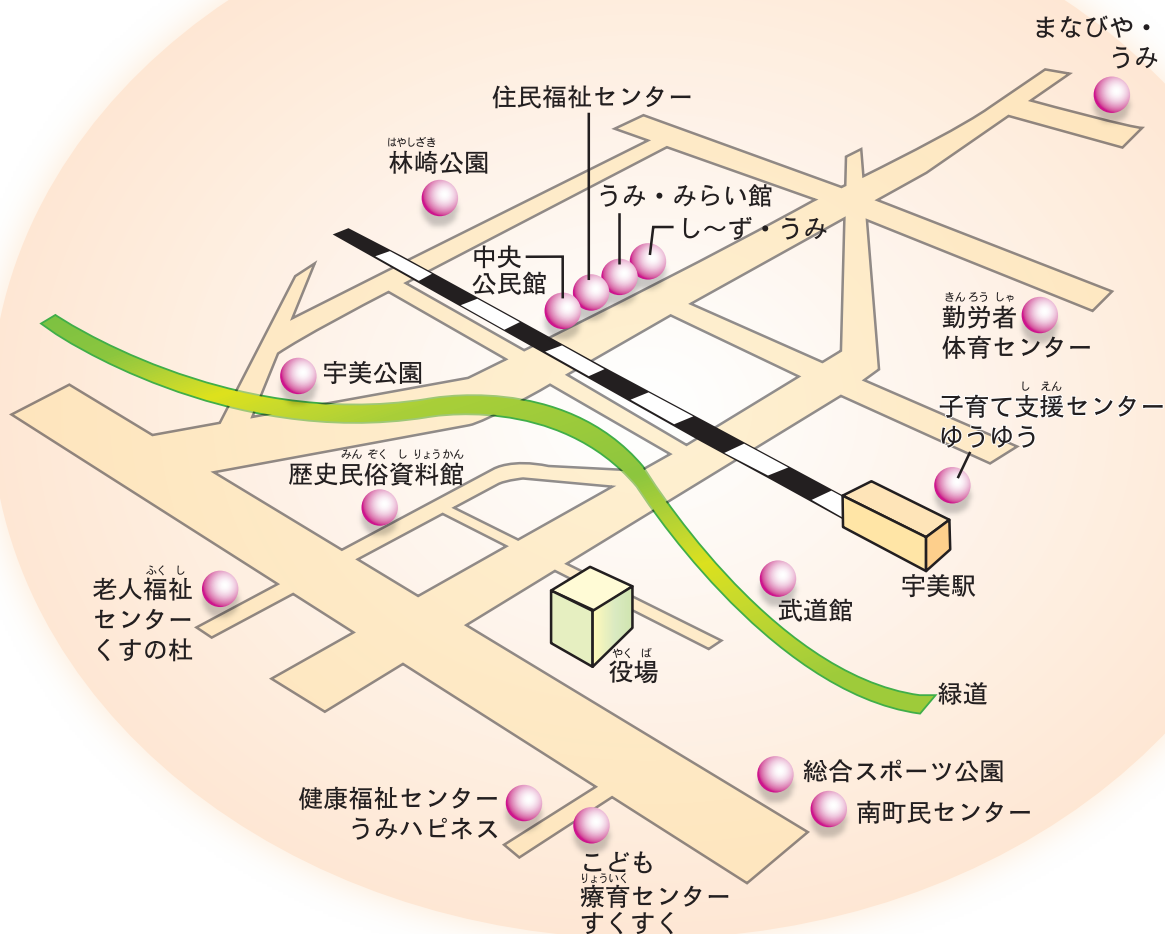
③宇美町の公共施設

宇美町の公共施設を利用した経験をもとに、施設や利用者の方について話し合いました。



宇美町には、町民の願いによって建てられた多くの公共施設があります。公園や公民館、資料館、体育館などわたしたちにとって身近な施設ばかりです。そこでは、さまざまな文化活動や体育活動などが行われ、町民の交流の場となっています。

宇美町のおもな公共施設





「うみ・みらい館」

くらしの中で本に親しんだり、研修を行ったりする場として2007年（平成19年）に建設されました。図書館があり、たくさんの町民が利用しています。



住民福祉センター

町民の福利・厚生を目的として1977年（昭和52年）に、建設されました。バレーボールなどのスポーツ活動や日本舞踊などの文化活動が行われています。



中央公民館

町民の身近な学習・交流の場として1979年（昭和54年）に、建設されました。講演会や文化のつどいなどが開かれています。



健康福祉センター「うみハピネス」

町民の健康づくり、高齢者・身体障がい者の方のための保健と福祉の中心施設として1997年（平成9年）に、建設されました。健康診断・検診が行われ、よりよい食事の取り方や病気の予防について学習できます。

特に、「中央公民館」「住民福祉センター」「うみ・みらい館」「し～ず・うみ」が並ぶゾーンを「ふみの里まなびの森」とよび、それぞれの施設が連携しながら町民のみなさんの学習や活動をサポートしています。

(3) 宇美町のまちづくり計画

宇美町では住みよいまちづくりのためにこれまで5次の総合計画をつくり、その実現を目指してきました。

①第1次総合計画(昭和46年度～55年度)

昭和38年に宇美町内最大だった炭鉱が閉山しました。

宇美町は、恵まれた自然環境と福岡市に近いという地理的な特性を生かして、有力なベッドタウンと軽工業地域としての発展を目指しました。



昭和の森

昭和の森にバンガローができたのは昭和63年なんだよ。



②第2次総合計画

(昭和56年度～平成3年度)

宇美町の人口は、昭和52年に2万人を突破し、昭和55年には約2万4千人に急増しました。自然環境と生活環境の調和を大切にしたまちづくりを進めました。

いくつもの団地が開発され、新しい小中学校が開校しました。勤労者体育センターやし～ず・うみなどが完成し、下水道工事が着工しました。

③第3次総合計画（平成4年度～13年度）

人々の価値観や生活様式が変化し、都市的な環境づくりが求められました。下水道工事が進み、一部で使用が開始されました。「うみハピネス」や総合スポーツ公園など、健康づくりのための施設が充実しました。旧国鉄の勝田線の跡地は緑道として整備され、宇美駅前広場が完成して、町の玄関口が新しくなりました。



宇美駅前広場

④第4次総合計画（平成14年度～23年度）

地域の課題が多様化し、住民と行政が一緒に対応することが重要になってきました。

図書館と生涯学習センターの役割をもった「うみ・みらい館」が開館し、まちづくりを担う人材の育成を目指しました。

また、ごみの減量とリサイクル社会の実現を目指して、隣接する志免町と共同でリサイクルセンターを建設しました。



宇美町生涯学習の
マスコット

「トンボのふみちゃん」

生涯学習

一人ひとりが自分の人生を楽しく豊かにするために、生涯のいろいろな時期に学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味などさまざまな活動を行うこと。



子育て支援センター
「ゆうゆう」

⑤第5次総合計画(平成23年度～26年度)

人々の価値観は「物の豊かさ」から
「心の豊かさ」へ変化し、多様化して
きました。

宇美町では、自然・歴史・文化・人
材などを生かしながら、地域の住民、
行政、企業などが共に力を合わせて、
「わがまち・宇美」を誇れるまちにする
ための取組を始めました。

子育て支援センターやファミリーサ
ポートセンターを開設し、子育てを地
域全体で支える環境づくりを行いました。
た。

また、ボランティア・町民活動支援
センターを開設して、防犯や福祉、環
境など地域の様々な課題に取り組むボ
ランティアを支援しています。

家庭や地域が協力し合
い、町全体で子どもを育
てようとしているんだね。



宇美町が周りの市町と協力して行っている主な事業



粕屋中南部
休日診療所

休日診療

一ヶ所に集中して診療することで、急な手当てが可能です。



クリーン
パーク
わかすぎ

ごみ処理

もえるごみを大量に処理して、固形燃料をつくっています。



下水処理

博多湾や多々良川の水質保全のため効率的に処理しています。

多々良川
浄化
センター



筑後川大堰

水道事業

福岡地区の水不足を補うため筑後川の水を利用しています。

(4) 周りの市や町との協力

交通手段等の発達により、通勤、通学をはじめ、文化・スポーツ交流など町民の生活行動範囲は拡大し、そのライフスタイルは多様化しています。

住民が求める行政サービスも多様化、高度化して、まちづくりにおいて難しいことが増えてきました。

そこで、「一つの町だけではできないことも、たくさんの町が力を合わせればできるようになるのではないか」という考えで、宇美町は他の市や町と共同で取組を始めました。

現在では、医療、保険、ごみ処理、上下水道、消防、防犯など様々な分野で周りの市や町と協力しています。

周りの市や町とどんな協力をしているのか調べてみましょう。





宇美八幡宮



光正寺古墳



宇美町消防団

(5) まちづくりの将来像 しょうらいぞう

わたしたちの宇美町は、かつては炭たん 鉱こうの町として栄さかえました。炭鉱閉山後は、福岡市のベッドタウンとして発展はってんし、豊かな自然を大切に守りながら住宅地ちゅうたくの開発かいはつや公共施設こうきょうしせつ・道路整備どうろせいびなどのまちづくりをすすめてきました。

新しいまちづくりに向けて、どんなことを大切にしたり、工夫くふうしたりしていけばいいのかな。



しかし、少子高齢化しょうしこうれいかや情報化じょうほうかが進み、社会が大きく変化へんかしたため、新しいまちづくりのかたちもとが求められています。

今後は、町民ちやうみん、行政ぎやうせい、企業きぎやうなどが共に力を合わせて、地域ちいきの課題かだいを解決かいけつしていくことが必要ひつようです。



農業体験学習(中学校)



米づくり体験(小学校)



子育てサロン



少年の翼^{つばさ}

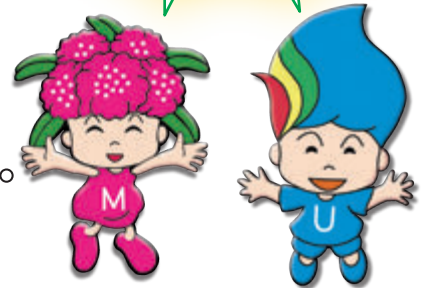


グラウンドゴルフ

宇美町は、自然・歴史・文化・人材
などの「輝く資源」を生かして、わた
したちの町が活力あふれる豊かな町、
住んでよかったですと思える町となるよう
に、まちづくりを進めていきます。

よりよい宇美町にするためにどんな
ことが必要か、友達のために、家族の
ために、みんなのためにできることが
ないか、一緒に考えていきましょう。

よりよい宇美町にする
ために、これからどんな
ことが必要か、みんなで
話し合ってみましょう。



さんくんさん
三郡山から見た宇美町の風景

